



「岩手山の火山を学ぼう」

開催概要

- 開催日時 令和6年9月10日(火) 9:20~11:30
- 開催場所 イーハートブ火山局(八幡平市松尾寄木)
- 参加者 滝沢市立一本木小学校 4年生26名
- 講座目的 防災教育の一環として

実施内容

今回の出前講座は、滝沢市立一本木小学校が行っている防災教育の一環として「岩手山の火山を学ぼう」と題して出前講座を行いました。一本木小学校は平成14年の砂防堰堤探検隊以降、ほぼ毎年火山局に来ていただいております。

まず座学では、岩手山は近年噴火の可能性が高まったことや、噴火した場合に発生した土砂災害(山崩れ、土石流)を動画で体感し、国土交通省が実施している災害の被害を軽減するための砂防事業(砂防堰堤など)について紹介しました。その後、クイズにも挑戦しました。

参加した児童は土石流の迫力ある動画に驚いたり、クイズや土石流模型実験をとおして楽しく学習していました。また、アンケートに答えて、ここ「イーハートブ火山局」でしか入手できない「小水無沢第1砂防堰堤のSABOカード」をゲットしていました。また、「マグマは黒曜石の成分になるか」「溶岩で山は溶けないのか」「溶岩は何時間で冷えるか」「噴石は元々山のどこにあるのか」等沢山の質問もいただき、熱心に勉強していました。ありがとうございました。

実施状況



クイズに挑戦し、楽しく学習しました



土石流模型実験の様子

アンケートに答えてSABOカードをゲット